



ひだか

第64号

農業委員会だより

R元.7.30 発行

発行：日高市農業委員会 編集：農業委員会だより編集委員会 住所：日高市大字南平沢 1020 TEL：042-989-2111



目次 (ページ)

- 2, 3 農業委員と日高高校生徒の農業体験
- 4 令和元年度の目標及び活動計画 ほか
- 5 明日の農家 (毛塚崇浩さん)
- 6, 7 農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します
- 8 農業者年金は積立年金 ほか

ひと汗かいて
ハイ、チーズ!



サツマイモの苗の定植作業する生徒



今回の農業体験は、委員間の話し合いにより、農業後継者の育成につながる活動ができないかと考え、福井氏が5年ほど前から



今回の農業体験は、委員間の話し合いにより、農業後継者の育成につながる活動ができないかと考え、福井氏が5年ほど前から



落花生の種まきの方法を教わる日高高校の生徒たち
(左は中心となった福井一洋委員)

委員間の話し合いで生まれた 今できること

令和元年6月3日、県立日高高等学校の生徒を対象とした農業体験が実施されました。場所は日高高校グラウンドの隣接地を利用し、農業委員の福井一洋氏を中心に7名の委員が農業体験に参加しました。

今回の農業体験は、委員間の話し合いにより、農業後継者の育成につながる活動ができないかと考え、福井氏が5年ほど前から

行っている農業体験事業に委員が一緒に取り組むこととなったものです。

当日は天候に恵まれ、落花生の播種とサツマイモの苗の定植作業が行われました。農業委員は熱心に作業方法を教えながら、生徒たちと一緒に農作業を楽しみました。生徒たちも真剣に農業委員の話聞きながら作業を行いました。

今後の作業としては、随時、除草作業をしながら、秋に野菜を収穫する予定です。生徒たちと同様に、すくすくと成長する野菜の姿が楽しみです。

年々、農業者が減少し、農作業をする家庭が減る中で、今回の農業体験は生徒たちにとっても農業の楽しさを実感する貴重な体験だったのではないのでしょうか。こういった活動が少しでも農業後継者の育成に繋がればと思います。

「未来のために種を蒔く」 農業の楽しさが少しでも 伝われば

農業委員と
日高高校の生徒たちが
農業体験を実施



農業体験圃場の「Seseragi Farm」

令和元年度の目標及び活動計画

項目	目標 ()内は 前年度の達成値	活動計画
担い手への農地の 利用集積・集約化	新規集積面積 6 h a (15.6 h a)	利用意向調査による情報を整備するとともに、農地状況を常に把握するための活動を充実させ、担い手等に集積していく。
新たに農業経営を営もうとする者の参入促進	参入者 1 経営体 (0 経営体)	関係機関と連携し、推進活動や啓発活動を行っていく。
遊休農地に関する措置	遊休農地の解消 3 h a (2.7 h a)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員及び農地利用最適化推進委員で現地調査の実施。 ・農業経営状況調査の実施。 ・広報誌による啓発活動を実施。

～委員の声～

農業委員 森谷 進さん



私は日高市の駒寺野新田で農業経営をしています。農業委員になって3期目に入り、今年で9年になります。就任当初は月一回の総会での許可案件の審議や農地パトロールが中心でしたが、平成29年に農地利用最適化推進委員が新たに設置され、推進委員と連携した活動が増えたことで、より充実しています。また、農業委員と推進委員で農家の後継者不足の問題について話し合い、若者に農業の魅力を知ってもらうにはどうしたらよいか、日頃から考えています。

先日、日高高校の生徒さんとの農業体験に参加しましたが、高校生が楽しそうに農作業をする姿は、私たちの活動の大きな励みになりました。

農業後継者の問題は、今すぐに解決できる問題ではありませんが、少しずつ解決していければと思います。

明日の農家

「明日の農家」では、日高市で明日を担うフレッシュな農家をご紹介します。

今回は高萩地区などで野菜を栽培している
たかひろ
毛塚崇浩さんにお話を伺いました。



農業を始めたきっかけは何ですか

私の家は、祖父の代から農業を営んでいました。私も小さい頃から除草や収穫の手伝いをしていました。農作業をする父の姿を見て育つ中で、将来は自分も農家になりたいと思うようになりました。



今が旬のナス。大きくて表面がつやつや

現在の活動内容を

教えてください

現在は、父と一緒に農業経営をし、多品目の野菜を栽培しています。収穫した野菜は市内の直売所やスーパーに出荷しています。農業をする中で経験豊富な農家の先輩やたくさんの方と知り合うことができ、また、いろいろな知識を教えてもらうことで日々勉強になっています。

また、仕事以外でも、消防団や地元の若手農家の団体などに所属することでプライベートも楽しく過ごせています。

今後の抱負をお願いします

将来的には父親から独立して経営し、**年収一千万円**を目指して頑張りたいです。今年、結婚し子どもも産まれたので、今よりもっとお金を稼いで一家の大黒柱として家族を養っていききたいです。

あと、個人的にはアメ車に乗りたいです。



「委員になると、どんなことするの？」

具体的な業務内容

- 総会への出席及び農地取得案件や農地転用等についての審議
- 担い手への農地利用集積（現地確認、候補地選定等）
- 担当区域の農地パトロールや担い手等に関する情報収集
- 農地利用状況調査（調査結果により遊休農地面積が決定されます）
- 人・農地プラン作成への関与など

※「農地利用最適化推進委員」については、上記業務の中でも「担い手への農地利用集積」に重点的に取り組んでいただきます。

両委員は「日高のさらなる農業振興」だけでなく、遊休農地解消によるまちづくり、環境整備等にも寄与する「日高市」にとっても、欠かせない存在です。



農業委員会総会の様子

日高の農業を支える

農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

現農業委員及び農地利用最適化推進委員が令和2年1月16日で任期満了を迎えるため、新たに両委員を募集します。両委員は遊休農地解消や農地利用集積等を進めるにあたり、重要な役割を担います。日高の農業について一緒に考えてみませんか。

共通事項

報酬 月額2万8千円

応募方法 自薦または他薦（農業者等3人以上の連名による推薦または法人及び団体推薦）。所定の用紙に必要書類を添えて、持参または郵送でお申し込みください。
※応募資格等の詳細はお問い合わせください。
※所定の用紙は、農業委員会事務局で配布するほか、市ホームページからもダウンロードできます。

応募期間 令和元年8月15日から令和元年9月20日まで

農業委員

任期 令和2年1月17日から令和5年1月16日まで

対象 農業に関する識見があり、農業委員会の所掌に属する事項などに関し、その職務を適切に行うことができる20歳以上の者

定数 14名

役割 農地の権利移動等の許認可や農地転用許可に係る意見決定等の業務、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消などの業務

農地利用最適化推進委員

任期 令和2年2月1日から令和5年1月16日まで

対象 農地利用の最適化推進に熱意と識見があり、担当する区域内において推進活動のできる20歳以上の者

定数 6人

役割 農業委員と連携し、担当区域内の遊休農地の発生防止・解消に向けたパトロールや担い手への農地集積などの農地利用最適化の推進活動

農業者年金は積立年金

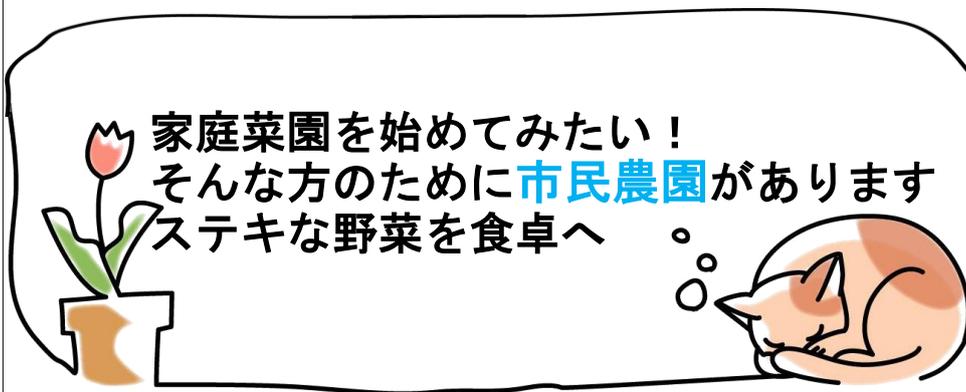
安心して豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは十分とは言えず、老後の生活費は自分で準備する必要があります。農業者年金に加入して安全で豊かな老後を迎えましょう。詳しくは、最寄りの農協・農業委員会または農業者年金基金へお問い合わせください。

【加入要件】

1. 国民年金第1号被保険者
2. 60歳未満の方
3. 年間60日以上農業に従事する方

【農業者年金の魅力】

1. 少子化に強い年金
2. 保険料は自由に選択できる
3. 税制上の優遇措置がある
4. 終身年金で80歳までの保証がある



「野菜を作ってみたいけど、畑を持ってない…」
 そんな方のために、市では市民農園を3ヶ所設置しています。
 毎日すくすく育つ野菜。きっと楽しいはずです。
 ご利用を希望の方は下記までご連絡ください。

- 利用資格：市内在住で適正に農地を管理できる方
 (1世帯につき1区画まで)
- 利用料金：年間3,000円
- 区画面積：1区画約30㎡

【問い合わせ先】
 日高市産業振興課 農政担当
 042-989-2111 (代)



巾着田市民農園



中鹿山市民農園



南平沢市民農園

【編集委員】
 浅田カヨ子
 福嶋輝幸
 森進
 鳴河のり子
 鈴木國昭
 庄司等
 本藤利一

最新の農業ニュースが満載！

全国農業新聞を購読してみませんか？

○毎週金曜日、月4回発行700円/月

